

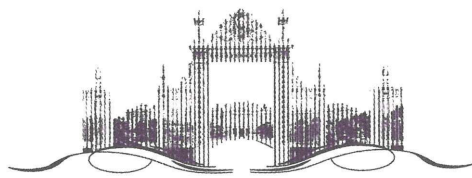


Rotary International
SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度

国際ロータリーテーマ: カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.910 / 2006.6.2

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小杉修造会長

●本日の例会 / 2006年6月2日第932回例会

卓話

「A Turning Point」

イニシエーションスピーチ

当クラブ会員 長谷川 尊一 君

(紹介者 荒木昭文君)

出席委員会: (馬場委員長)

4月の出席率は80%を越え、喜ばしい結果となりました。しかしながら、当クラブへの出席も大事にしていきたいと思います。

出席報告: 会員55名 / 出席29名・欠席26名 (出席規定免除者5名) ビジター3名、ゲスト1名

6月よりロータリーレート1ドル=110円(現行118円)

— ●先週報告 / 2006年5月26日第931回例会 —

会長特別報告:

5月10日にロータリー財団・国際親善奨学生オリエンテーション・親睦会が、如水会館「松風の間」で開催されました。カルフォルニア大学、サンディエゴ校に留学が決まりました三橋拓樹君と出席してまいりました。

幹事報告: ①6月9日(金)例会後13:10～15:00に本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会を開催いたします。テーマは「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」です。理事、役員、委員長、副委員長はもとより、全会員のご出席をお願いいたします。本年度各委員長は「本年度各委員会報告書」、次年度各委員長は「次年度各委員会計画書」を6月2日(金)までにご提出ください。

②6月2日(金)例会後13:40～「6月本年度(最終)・次年度合同理事会」を1F「あけぼの」にて開催いたします。理事・役員の方はご出席ください。

親睦活動委員会: (竹本副委員長)

5月27日(土)から5月28日(日)の親睦旅行につきましてご連絡いたします。
アファンの森の天候につきまして注意事項がございます。黒姫はこの数日天気が安定せず、昨日は日中でも10℃と大変肌寒く今日は20℃と過ごしやすいそうです。
天気によってだいぶ左右されるので一枚多めに洋服をお持ちになってください。
土曜日の黒姫の天気予報は曇りのち雨ですので雨具の用意をして来られたほうが良いと思います。道も雨ですと草木で靴が濡れますので水に強い靴がいいかもしれません。以上のことから雨の場合回る場所も奥まで行かず時間も短縮になる可能性があります。
出発時間は、7:15となっておりますので、よろしくをお願いいたします。

社会奉仕委員会: (田村(昭)委員長)

使用済み切手、書き損じハガキ、使用済みカードのご提供は、本日までとなっております。ご協力のほどお願いいたします。

5月例会卓話、行事予定

- | | |
|--------|---|
| 2日(金) | 第932回例会
卓話予定/イニシエーションスピーチ
「A turning point」当クラブ会員 長谷川 尊一 君
6月本年度・次年度合同理事会
東京全日空ホテル1F あけぼの
例会後13:40～15:00 |
| 9日(金) | 第933回例会
第6回クラブ協議会(次年度第1回)
例会後13:10～15:00
「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」 |
| 16日(金) | 第934回例会
卓話予定/イニシエーションスピーチ
当クラブ会員 飯島規之君 |
| 17日(土) | 青少年交換臨時オリエンテーション
13:00～17:00
アイディエス テクノクラブ |
| 22日(木) | 千代田グループ会長・幹事打ち上げ会
交詢社 9階中食堂 |
| 23日(金) | 第935回例会
本年度最終夜間例会・新会員歓迎会・打ち上げ会
「ステージY2」 18:00～20:20
渋谷区神宮前1-13-12 TEL:03-3478-1031 |
| 25日(日) | 2006年7・8月派遣生激励会 13:00～21:00
オリンピック記念青少年総合センター |
| 26日(月) | 各クラブ会長・幹事および地区役員・委員会合同会議ならびに打ち上げ懇親会
京王プラザホテル 5F コンコード 15:30～19:00 |
| 28日(水) | 第1回 地区ロータリー財団セミナー
14:20～16:50
代々木・オリンピック記念青少年センター センター棟101号 |
| 30日(金) | 休会
第2回千代田区グループ協議会 15:00～18:30
東京プリンスホテル 3F「ゴールデンカップ」 |

R1 第2750地区2006～2007年度地区協議会

日 時 2006年4月25日(火) 10:00～17:00
場 所 ホテルセンチュリーハイアット東京
ホストクラブ 東京羽田ロータリークラブ

第6分科会 「日本のロータリーが今求められているもの」 尾上 寛

【次年度地区国際奉仕の方針】 千葉次期国際奉仕委員長

国際奉仕とは、地区に任せるのではなく、各クラブの自主性に基づき行われるものであって、地区はそのお手伝いをするだけです。又、今までは地区協議会の一方向的な要請に基づきトップダウンであったがこれからは各クラブよりのボトムアップ方式で行いたい。

【世界社会奉仕について】 小粥次期世界社会奉仕委員長

- 1) 世界社会奉仕とは、先ずそのプロジェクトが人道的であり、二ヶ国以上のロータリアンが参加し、その一ヶ国がプロジェクト実施国であるというものであります。
- 2) マッチング・グラントとは、世界社会奉仕においてそのプロジェクトの不足分をロータリー財団から補助金として供与するということです。
- 3) 世界各国、地区、クラブからの紹介プロジェクトは地区・ホームページに掲載し各クラブに紹介いたします。尚、マッチング・グラント活用の世界社会奉仕の主体は各クラブであり、決して地区ではありません。
- 4) PBG内で特に貧しいPohnpei, Chunk(Truk Lagoon), Palauの各ロータリークラブのプロジェクトについては各クラブに積極的に紹介し、協力を要請したいと思います。
- 5) 姉妹関係にある韓国RI3650地区紹介の同国でのプロジェクトについては、各クラブに紹介し参加をお願いしたいと思います。
- 6) 各クラブに地区全クラブ(ロータリアン)が参加する一大プロジェクト実施の是非について意見を聞きたいと思います。
- 7) 地区世界社会奉仕委員会は飽く迄も各クラブのお手伝いをする事がその役割であります。

【国際親善について】 松島次期国際親善委員長

国際親善委員会は、CLPの導入により、奉仕プロジェクト委員会内の小委員会として活動致します。更に、中委員会として国際奉仕委員会が位置しています。

国際奉仕は、ロータリアンが、国際理解、神前、平和を推進するために実施できること全てから成ります。その方法は、他国の人々、その文化、習慣、業績、抱負、問題を知ることであり、又、旅行や国際大会出席による個人交流であり、読書や文通であり、更に、他国の人々に役に立つクラブの活動やプロジェクト全て(ロータリー財団を含む)に協力することです。

◆国際親善委員会の活動◆

- 1) 日韓親善交流
 - ・日韓親善短期青少年交換派遣
 - ・顧問教師交流
 - ・ローターアクターによる日韓親善交流
 - ・RI第3650地区大会参加と第2750地区大会受入
- 2) 姉妹クラブ・友好クラブ締結の推進
- 3) PRGとの交流

◆本部分科会でのテーマ「姉妹クラブ・友好クラブ」◆

- 1) 姉妹クラブとは？
国際奉仕の目的である国際理解、親善、平和を推進するきっかけと成り得ます。
- 2) 姉妹クラブ締結の手順は？
姉妹クラブを探すところから始めましょう。
- 3) 姉妹クラブ締結後の交流は？
親善、合同プロジェクトの実施等

4) その他

地域における国際交流を手掛かりに、姉妹クラブへ発展させていけるでしょう。

地区国際親善委員会では、各クラブのお手伝いができるよう姉妹クラブ締結状況、締結書類の資料があります。どうぞ、お問い合わせ下さい。

第9分科会 「米山奨学事業を推進するために」

吉田 用親

リーダー	中野 陽一	米山奨学委員長	(たまがわR.C.)
カウンセラー	鈴木 正二	パストガバナー	(立川R.C.)
サブリーダー	宮崎 幸雄	米山奨学会専務理事	(東京R.C.)
サブリーダー	奥田 勲	米山増進委員長	(東京南R.C.)
サブリーダー	関 博子	米山選考委員長	(世田谷中央R.C.)
司 会	田尾 守	米山選考副委員長	(町田R.C.)
参加者 計78名			

上記のメンバーによる、掲題の分科会が午後1時より開催された。

以下、当日発表された内容の骨子を記す。

米山奨学事業は、1952年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されたことに始まる。2年にわたる募金活動の後、1954年、タイから第一号奨学生を招聘し、1957年、「国内全クラブの合同事業」として「米山奨学委員会」が結成され全国組織となり、更に1967年、文部省から「財団法人」の認可を得ることとなる。

従って、米山奨学事業は、RIの活動には含有されず、国内地区の合同プロジェクトである。

当初、米山奨学事業は「アジア諸国」から、奨学生を「招致する」ことが、目的だったが、現在は 勉学、研究を志して日本に「在留」している「外国人(アジアに限らず)留学生」に対する奨学金支給支援を主たる目的としている。奨学生選考は、日本の大学、大学院に推薦を依頼し、大学が推薦した留学生を対象に行われるため、奨学生のレベルは高く、日本語も堪能であることもない。彼らのほとんどは、その国を代表する優秀な学生で、母国に帰りリーダー、指導者となりうる人物で、日本の良き理解者である。

米山奨学基金は、1996年迄、増加傾向が続いたが、1997年から減少に転じ、40億円あった特別積立金を毎年取崩し現在は、25億円に減少している。2005年度は、ようやく下げ止まる気配であるが、魅力のある奨学金制度とするために、ロータリーの会員の皆様の善意ある寄付を切にお願いしたい。



5月26日/5件11,000円/本年度累計1,130,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

松永秀和/打出様、本日の卓話を楽しみにしております。
田村昭二/昨日、取締役会で専務昇格が内定しました。ロータリーのお陰です。椎名康允/田村さん昇格おめでとうございます。橋本年男/椎名さんニコニコご苦労様です。明日の旅行を楽しみにしています。
尾関武男/明日の親睦旅行お世話になります。

●次週予告/2006年6月9日第933回例会

本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会

「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」

(例会後 13:10～15:00)